款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
5	1	1	勤労者会館運営費	1,166 千円	925 千円	238～239

【商工振興課】

○勤労者会館運営費　　925 千円

勤労者の文化の向上と福利厚生を図るため、勤労者会館を運営し、有効活用を図りました。

令和 7 年度 利用状況	利用回数 （回）	利用人数 （人）
大ホール	3	123
中ホール	1	10
小ホール	62	1,000
会議室Ａ	61	487
会議室Ｂ	5	33
合　　計	132	1,653

（参考）令和 6 年度　　135 回　　1,638 人
　　令和 5 年度　　187 回　　1,801 人

【使用料収入】　令和 7 年度　807 千円
　　令和 6 年度　899 千円
　　令和 5 年度　914 千円

款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
5	1	2	労働諸費	12,822 千円	12,628 千円	238～241

【商工振興課】

○シルバー人材センター運営費補助金　　12,628 千円

高齢者の多様な就業機会の確保や就業を通じた生きがいの充実及び社会参加の増進等に寄与しているシルバー人材センターの運営費の一部を補助しました。

≪事業実績≫

年度	受注件数	就業延人員	受注契約額	会員数
R7	967 件	5,324 人	128,418 千円	234 人
R6	1,149 件	5,865 人	126,731 千円	227 人
R5	1,139 件	5,958 人	122,561 千円	237 人

款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
6	1	1	農業委員会費	46,312 千円	45,759 千円	240～243

【農業委員会】

○農業委員会の体制

農業委員　　定数 19 人　実数 19 人

任期　令和 5 年 7 月 20 日～令和 8 年 7 月 19 日

農地利用最適化推進委員　定数 19 人　実数 19 人

任期　令和 5 年 7 月 20 日～令和 8 年 7 月 19 日

○３か年の申請許可状況

◇農地法に基づき受理及び審議承認した農地転用等件数　（面積：㎡）

年度／種別	R5 年度		R6 年度		R7 年度	
	件数	面積	件数	面積	件数	面積
３条(農地として活用…所有権移転、耕作権の設定)	48	53,050	42	67,926	56	71,389
４条(農地の転用…自分名義)	5	4,834	7	5,247	2	1,140
５条(農地の転用…他人名義の農地を売買又は貸借して)	53	32,617	38	34,040	28	15,826

◇農業経営基盤強化促進法による申請件数　（面積：㎡）

年度／種別	R5 年度		R6 年度		R7 年度	
	件数	面積	件数	面積	件数	面積
貸借（新規）	30	82,312	7	37,192	5	8,274
貸借（更新）	76	229,052	14	34,576	7	13,528
所有権移転（売買等）	29	65,528	42	57,325		

※農業経営基盤強化促進法…農業経営の規模拡大や合理化を進めていく意欲のある
農業経営者（認定農業者等）支援のための法律で、
農地法の許可を受けずに農地の貸し借り等ができる制度

◇農地中間管理機構を介した貸借申請処理件数

（処理件数）　（面積：㎡）

年度／種別	R5 年度		R6 年度		R7 年度	
	件数	面積	件数	面積	件数	面積
貸借（新規）	171	450,027	186	445,975	228	475,645
貸借（更新）	4	7,895	137	371,036	121	397,386

○農業者年金業務事業　　244 千円

農業者年金は、農業者年金基金法に基づく農業者の老後の生活の安定と福祉の向上を目的とした年金制度であり、農業者年金基金から委託を受け事務を行っています。

新規加入者申込届や裁定請求書、現況届などの届出書の受付、農業委員・農地利用最適化推進委員による加入対象者への周知及び加入推進活動を行いました。

区　分　　年　度		R5 年度	R6 年度	R7 年度
年金受給者　　（人）		411	390	396
被保険者　　（人）		182	191	189
届出受付件数（件）	新規加入者申込	11	15	12
	死亡・脱退届受付	34	37	23
	老齢年金請求（旧制度）	6	10	6
	特例付加年金請求（新制度）	1	0	1
	老齢年金請求（新制度）	11	18	15

○機構集積支援事業　　153 千円

農地中間管理機構が担い手への農地の集積・集約化を促進するに当たって、農業委員会が関連する事業を実施しました。

・農地利用状況調査……市内全域の農地を、農業委員、農地利用最適化推進委員及び事務局・農林課と共にパトロールを実施し、遊休農地の把握を行いました。

・農地利用意向調査……遊休農地所有者に対して意向調査を行い貸借等の斡旋や、遊休農地の解消に努めました。

・遊休農地面積……46ha（前年 30ha）

○農地利用最適化交付金事業　　5,432 千円

農地等の利用の最適化（担い手への農地集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進等）の推進に係る活動の実績に応じ、農業委員及び農地利用最適化推進委員へ報酬を支給しました。

委員等及び委員会の活動実績に応じた交付金　5,432 千円

款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
6	1	3	農業振興費	559,895 千円	486,638 千円	244～253

【農林課】

○雇用労力支援システム事業　　4,881 千円

担い手農家の規模拡大等に必要な労働力を安定的に確保するためには労力支援システムの構築が必要であることから、農援隊を組織する農協に対し補助を行いました。

事業の成果としては、農作業労力支援システムの活用により労力不足を解消し農業経営の安定に繋がりました。

受益戸数	147 戸
利用日数	2,650 日
事 業 費	39,634 千円（うち補助対象事業費：9,762 千円）
負担割合	市：1/2、農協：1/2

○種馬鈴薯産地維持対策事業　　2,066 千円

種馬鈴薯の生産は、食用馬鈴薯の安定的な生産と供給のために不可欠であり、かつ、種苗増殖の起点となる健全無病な原原種または原種の購入は必須であることから、その購入費の一部を支援し、品質の安定化と収量の向上に繋がり、産地維持が図られました。

事業内容	植物防疫法に基づく検査に合格した原原種及び原種の種子購入に対する一部支援
作付面積	1,220a（春作 625a、秋作 595a）
補 助 率	市：1/5 以内

［種馬鈴薯生産ほ場］

［収穫風景］

○産地生産基盤パワーアップ事業　　322,627 千円

水田・畑作・野菜・果樹・花き等の産地が創意工夫を活かし、地域の営農戦略として定めた「産地パワーアップ計画」に基づいて実施する競争力の強化や産地の高収益化に向けた取組を総合的に支援しました。

受益戸数	ほうれん草　1戸　にんじん　35戸　　果菜　27戸
事 業 量	ほうれん草（ハウス資材　23a） にんじん（省力化機械 46台、べたがけ資材　775a） 果菜（ハウス資材　348a、省力化機械　9台）
事 業 費	ほうれん草 25,080 千円（うち対象事業費： 22,800 千円） にんじん　165,441 千円（うち対象事業費：164,599 千円） 果菜　　474,646 千円（うち対象事業費：451,796 千円）
補 助 率	国：1/2

〔ハウス資材〕

〔人参収穫機〕

○有害鳥獣対策事業　　7,975 千円

農業収益の低下を招く有害鳥獣による被害を防止するため、対策の一環として猟友会へ捕獲を委託し、実施しました。

また、有害鳥獣捕獲従事者の育成を図るため、狩猟免許取得支援を行いました。加えて、イノシシ捕獲用箱わなの修繕を行いました。

事業の成果として、有害鳥獣であるイノシシ等による農作物被害の軽減に繋がりました。

・有害鳥獣捕獲等実績

イノシシ	イノシシ以外の獣	カ ラ ス	WM柵等設置長
438 頭	39 頭	326 羽	0m

［イノシシの捕獲］

［WM柵］

【耕地水産課】

〇土地改良事業経費　　34,068 千円

〇土地改良区事業　　10,918 千円

土地改良区及び土地改良区が加入している合同事務所の運営基盤強化のため、運営費に対して補助を行いました。

・島原深江土地改良区　　1,904 千円

・島原市土地改良区合同事務所　　9,014 千円

（三会原土地改良区、川内土地改良区、柏野・佐野土地改良区、
宇土山土地改良区、一野土地改良区、東大土地改良区）

〇農業水利施設ストックマネジメント事業　　23,150 千円

農業水利施設の安定的な機能確保のため、施設の劣化状況等の調査に基づく対応計画の策定や対応計画に基づく予防的な保全対策に補助金を交付し、収益性及び生産効率の向上、農家の負担軽減を図りました。

・機能保全計画に基づく対策工事：川内土地改良区　　7,616 千円
　　三会原土地改良区　　6,834 千円

・機能保全計画策定　　：柏野・佐野土地改良区　　2,400 千円
　　島原深江土地改良区　　6,300 千円

【農林課】

〇経営発展支援事業　　11,247 千円

次世代を担う農業者となることを志向する新規就農者に対し、就農後の経営発展に必要な農業機械の導入を支援することにより、農業への人材の一層の呼び込みと定着を図りました。

交付対象者	認定新規就農者　２戸
事業量	トラクター　１台、ラジコン動噴　２台、トンネル支柱打込機　２台、フォークリフト　１台、マルチ張り機　１台
事業費	16,055 千円（うち補助対象事業費：15,007 千円）
補助率	国：1/2、県：1/4

【ラジコン動噴】

【トンネル支柱打込機】

○経営開始資金　　10,625 千円

次世代を担う農業者となることを志向するものに対し、就農直後の経営確立に資する経営開始資金を交付（最長３年間継続交付）することにより、農業への人材の定着を図りました。

交付対象者	7 人（令和 4 年度開始分 1 人＋令和 6 年度開始分 4 人＋令和 7 年度開始分 3 人）
事業費額	10,625 千円（750 千円×1 人＋1,500 千円×6 人＋875 千円×1 人）
補助率	国：10/10

○施設園芸等燃油価格高騰対策事業　　5,182 千円

円安等における様々な影響による原油価格の高止まりに伴い、施設園芸等で使用する燃油の価格が高水準で推移し農業経営を圧迫しているため、燃油購入費の一部を支援することで、農林業経営の安定化と事業継続の支援を図りました。

品目	申請件数（件）	給付額（円）
菊	7	1,258,000
洋ラン	1	160,000
葉たばこ	6	302,000
特用林産物	1	1,028,000
いちご	24	1,963,000
その他野菜	8	471,000

【耕地水産課】

○農業水利施設電気料高騰対策事業　　525 千円

土地改良区が電気料金の支払いを行っている農業水利施設に対して、高騰した電気料金の一部を支援し、農家の負担軽減を図りました。

款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
6	1	4	畜産業費	74,647 千円	53,489 千円	252～255

【農林課】

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金事業として下記の事業を行いました。

○家畜飼料価格高騰対策事業　　17,291 千円

円安等における様々な影響による世界的な物流の停滞や燃油高騰による輸送費の増加等により、家畜飼料用の輸入原料が高騰し、畜産経営において大きな負担となっているため、配合飼料価格安定制度の農業者積立金の一部を助成することにより、畜産経営の安定化と事業継続の支援を図りました。

畜種	申請戸数	金額(円)	全戸数
肉用牛	25	1,703,600	49
乳用牛	10	718,400	11
採卵鶏	16	7,513,400	19
肉用鶏	3	2,229,400	3
養豚	8	5,125,800	8
合計	62	17,290,600	90

○優良肉用子牛生産推進緊急対策事業　　7,940 千円

円安と原油高騰における様々な影響から家畜飼料などの物価高騰により、生産者の肉用子牛の購買意欲が減退し、肉用子牛の販売価格が急落しているため、経営改善に取り組む肉用子牛生産農家に対して支援し、生産者の意欲を高め、肉用子牛の生産基盤の維持・強化を図りました。

畜種	申請戸数	金額(円)	全戸数
肉用牛	33	7,940,000	36

○乳用牛生産コスト高騰対策事業　　10,490 千円

購入粗飼料等の価格高騰の影響を受け、生産コストが上昇している酪農経営について、生産コスト上昇分の一部を支援することにより、酪農経営の安定化と事業継続の支援を図りました。

畜種	申請戸数	金額(円)	全戸数
乳用牛	14	10,490,000	14

款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
6	1	5	農地費	499,843 千円	392,242 千円	254～259

【耕地水産課】

○県営事業費負担金　　130,959 千円

県営の畑地帯総合整備事業（三会原第４地区）ほか６件に対し、負担金を支出しました。

（千円）

事 業 名	箇所名	事 業 内 容	事業費	負担金	小計
県営畑地帯総合整備事業（R6 年度繰越）	三会原第４地区	測量、設計、換地、区画整理、畑地かんがい	625,000	76,424	113,575
県営畑地帯総合整備事業	三会原第４地区	測量、設計、換地、区画整理、畑地かんがい	278,540	34,743	
県営畑地帯総合整備事業（R6 年度繰越）	中原・寺中地区	測量、設計	5,000	600	
県営畑地帯総合整備事業	中原・寺中地区	測量、設計	3,460	415	
県営畑地帯総合整備事業（R6 年度繰越）	一野地区	測量、設計、換地	9,300	1,116	
県営畑地帯総合整備事業	一野地区	測量、設計、換地	1,027	123	
県営畑地帯総合整備事業	東大地区	測量	1,287	154	
県単独土地改良調査	三会原地区	計画基礎資料	5,000	1,500	1,500
県営ため池整備事業（R6 年度繰越）	寺中ため池 植松ため池	改修工事	72,000	7,920	15,884
県営ため池整備事業	寺中ため池 植松ため池	改修工事	72,400	7,964	
		計	1,073,014	130,959	130,959

着工前

着工後

○需用費（修繕料）　　9,082 千円

農業用の道路や河川等の施設において、破損箇所の補修や改修を行い、利用者の安全性や利便性を高めました。

工　種　名	件数（件）	支出額（千円）
農道修繕	18	4,347
用排水路修繕	22	4,735
計	40	9,082

【小原地区里道舗装修繕】

着工前

竣工

○工事請負費　　180,777 千円

農業用施設である農道や河川等の用排水路の改修を行い、利用者の安全性や利便性を高めました。　　（単位：件数（件）、支出額（千円））

工　種　名	件数	支出額
農道改修工事 ・広域農道舗装改修工事（地方創生整備推進交付金事業活用） ・農道出口原線Ａ側溝整備工事	2	90,619
用排水路等改修工事 ・堤沢川護岸整備工事　・中河川護岸改修工事　・深底ため池浚渫工事（その４）・堤沢ため池浚渫工事	4	90,158
計	6	180,777

【広域農道舗装改修工事】

着工前

竣工

【堤沢川護岸整備工事】

着工前

竣工

【農道出口原線 A 側溝整備工事】

着工前

竣工

○原材料費　　2,128 千円

公図上にある農道等の舗装打設や用排水路の漏水対策で自然排水路の改良などの必要性が高く、受益者等が自ら施工できるものに対し、生コンなどの資材を支給又は購入し、営農の効率化や安全性の向上を図り、農業経営の安定化に寄与しました。

工 種 名	件数（件）	支出額（千円）
生コンクリート	4	2,057
道路舗装補修材	5	71
計	9	2,128

着工前

竣工

○多面的機能支払交付金　　39,090千円

農業者や地域住民が参加する活動組織による農業用施設の維持管理や地域の生態系保全、景観形成などの活動に対し交付金を交付しました。

	広域組織数	面積（ha）	交付金額（千円）	負担割合（%）		
				国	県	市
農地維持支払交付金	1	725	15,268	50%	25%	25%
資源向上支払交付金（共同活動）	1	725	8,383	50%	25%	25%
資源向上支払交付金（長寿命化）	1	647	14,639	50%	25%	25%
広域活動組織運営交付金	1	―	800	0%	0%	100%
計	1		39,090			

ため池の草刈の状況

景観形成活動の状況（ひまわり播種）

農道の草刈り状況

水路の清掃状況

款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
6	1	6	農村環境施設管理運営費	156,075 千円	81,149 千円	260～265

【農林課】

○循環型トイレ購入費　　29,260 千円

有明農林漁業体験実習施設（舞岳山荘）のキャンプ場に、『地域における受入環境整備促進事業補助金』を活用し、利用者の利便性向上並びに自然環境保全のため、循環型トイレを購入（設置）しました。

トイレ外観

トイレ内部（バリアフリー室）

款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
6	2	2	林業振興費	22,944 千円	16,344 千円	266～269

【農林課】

○松くい虫対策事業　　4,059 千円

松林を松くい虫から保護するため、被害木の伐倒駆除処理を行い、松林の健全な育成と保全に繋がりました。

実施場所	有明町水之出口地区、湊島、秩父が浦
事 業 量	伐倒駆除：54 本

○森林環境譲与税活用事業　　7,347 千円

これまで十分な手入れが行われてこなかった森林（私有林）について、整備等に必要な地方財源の安定的な確保のため、平成３１年度に森林環境税、森林環境譲与税が創設され、併せて、適正な森林の管理促進を図るため、森林経営管理法が制定されました。新設された地方財源を活用し、適切な森林の経営管理と計画的な森林の整備等を進め、国土の保全など森林の有する公益的機能の発揮につなげることができました。

私有林人工林間伐業務　　8.54ha

款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
6	3	2	水産業振興費	35,893 千円	26,748 千円	268～273

【耕地水産課】

○活力ある海づくり事業費補助金　　2,112 千円

（有明漁協：673 千円　島原漁協：1,439 千円）

有明海の漁業資源の回復を図るため、種苗放流事業を行う有明海栽培漁業推進協議会に加入する有明漁協・島原漁協に対し補助を行いました。

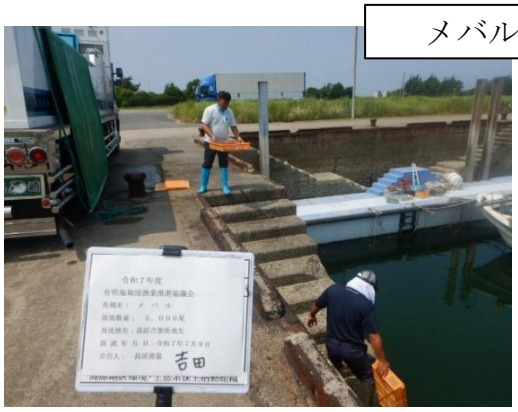
（市補助率 75%：漁協負担金の 75%を補助）

・放流実績（諫早湾漁協から島原半島南部漁協までの８漁協合計分）

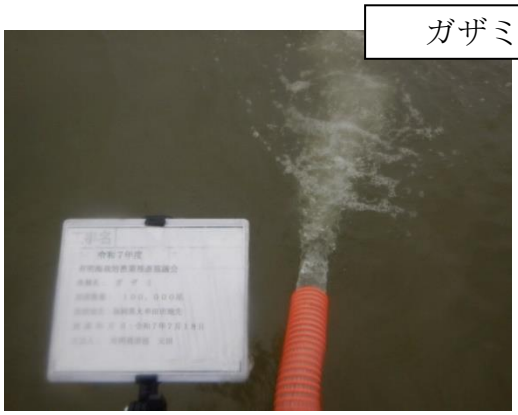
（単位：尾）

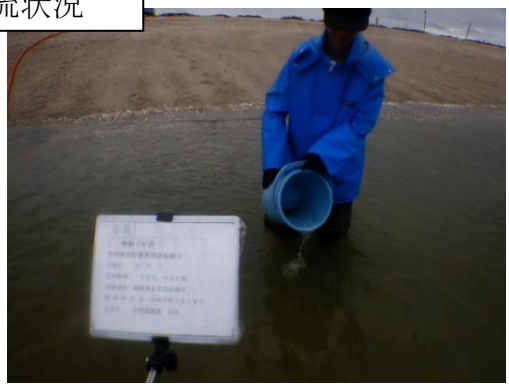
魚種	ガザミ	クルマエビ	メバル
尾数	100,000	1,450,000	20,000

メバル放流状況



ガザミ放流状況





○漁業と漁村を支える人づくり事業費補助金　　7,712 千円

担い手の定着促進のため、就業定着意欲のある者に対する研修費等を助成し、担い手の確保育成を図りました。（負担割合：県 50%、市 50%）

・漁業就業実践研修事業【新規就業者の研修費等】

【令和 7 年度実績】

研修者：4 人、指導者：3 人　7,712 千円

○漁場生産力・水産多面的機能強化対策事業負担金　　2,403千円

島原地区及び有明地区環境・生態系保全活動組織が、藻場・干潟の機能の維持・回復を図る取り組み相当分に対し、長崎県水産多面的機能発揮対策地域協議会に負担金を支出しました。

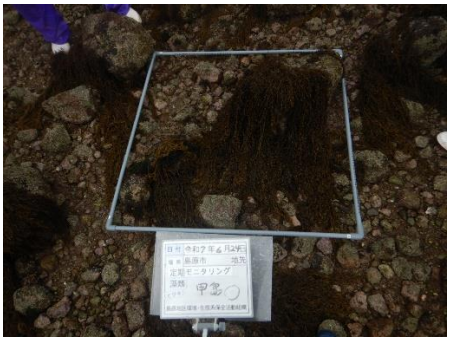
（負担割合：国14/20、県3/20、市3/20　※海難救助訓練及び漂流・漂着物除去【災害】は国費100%）

（千円）

活動組織	内容及び事業費		国		県	市
	内容	事業費	14/20	20/20	3/20	3/20
島原地区環境・生態系保全活動組織	1.藻場の保全	1,958.4	1,370.8		293.8	293.8
	2.干潟の保全	4,569.6	3,198.8		685.4	685.4
	3.漂流・漂着物除去	2,937.6	2,056.4		440.6	440.6
	4.海難救助訓練	480		480		
小　計		9,945.6	6,626.0	480	1,419.8	1,419.8
有明地区環境・生態系保全活動組織	1.藻場の保全	1,075.2	752.6		161.3	161.3
	2.干潟の保全	3,824.0	2,676.8		573.6	573.6
	3.漂流・漂着物除去	2,172.8	1,521.0		325.9	325.9
	4漂流・漂着物除去【災害】	2,305.0		2,305		
小　計		9,377.0	4,950.4	2,305	1,060.8	島原市分 983.0 （雲仙市分 77.8）
合　計		19,322.6	11,576.4	2,785	2,480.6	島原市分 2,402.8 （雲仙市分 77.8）

島原地区ヒジキセラポラ設置

有明地区アマモ移植



島原地区ヒジキ繁茂状況

有明地区アマモ繁茂状況

○県営水産環境整備事業負担金　　2,101 千円

有明海沿岸地区において海底耕耘を実施するとともに、底質が悪い諫早湾において、耕耘と合わせ貝殻等を散布し、底質の改善に取り組むことにより、底棲生物の生息環境を改善し、漁場の生産能力向上と漁獲の増大を図りました。

県営水産環境整備事業の主な内容

・有明海沿岸地区（諫早市、雲仙市、島原市、南島原市）において、漁船を使用して、貝桁による海底耕耘作業等を実施しました。

海底耕耘実施面積　12.22 ㎢、測量試験一式

事業費　121,005 千円

（負担割合：国 50%、県 45%、市 5%）

島原市の負担金算出方法

・事業費×5%（4 市負担金割合）×（島原市の作業船：498 隻／4 市の作業船：1434 隻）

＝121,005,000 円×5%×498／1434 隻＝2,101,135 円

○漁業用燃油価格高騰対策事業　　3,670 千円

高騰した漁業用燃油価格の一部に支援を行うことにより、漁協正組合員の漁業経営の安定化、ひいては水産物の安定化を図りました。

漁業用燃油価格高騰対策事業業務委託の主な内容

・委託先　　島原市内の漁業協同組合

・委託内容　市内に住所を有する漁協の正組合員の購入燃油 1 リットルあたり 10 円を支援、支援に係る書類検査等の人件費、印刷費等

・対象燃油　令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日までに購入した漁業用燃油

【実績金額内訳】

委託先	島原漁業協同組合	有明漁業協同組合
燃油購入支援費	1,471,000 円	1,591,000 円
賃金	132,000 円	132,000 円
印刷費	6,400 円	4,200 円
消費税	160,940 円	172,720 円
合計	1,770,340 円	1,899,920 円

全体合計　1,770,340＋1,899,920 円＝3,670,260 円

款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
7	1	2	商工業振興費	619,620 千円	457,723 千円	274～281

【商工振興課】

○中小企業振興利子補給等補助金　985 千円

市内中小企業に利子補給及び保証料補給を行い、経営の改善と産業の発展に寄与しました。

補助件数　　20 件

内訳…中小企業振興資金：5 件、日本政策金融公庫（国民生活事業）：15 件

○島原城大手門市　　1,735 千円

市役所大手広場、周辺商店街及び島原駅一帯を中心としたイベントを企画し、地域を巻き込んだ物産市を開催することにより中心市街地の活性化に寄与しました。

- ◆ 開 催 期 間 ：令和 7 年 10 月 18 日（土）～令和 7 年 10 月 19 日（日）
- ◆ 実 施 主 体 ：島原城大手門市実行委員会
- ◆ 来 場 者 数 ：約 15,000 人（2 日間累計）
- ◆ 出 店 者 数 ：126 店舗（2 日間累計）

○企業誘致活動事業　　1,023 千円

企業誘致候補地や空き工場、空き店舗などの物件の情報収集を行い、市外からの企業誘致活動はもとより、市内企業の増設、移設などに関する相談や候補地の紹介を行いました。

また、長崎県並びに（公財）長崎県産業振興財団と連携し、製造業企業や IT 関連などのオフィス系企業への誘致活動に取り組み、令和 7 年度は、県外に本社を置く情報サービス業を営む企業 1 社を誘致しました。

○企業立地促進・雇用創出事業　　3,278 千円

新規企業の立地及び地場企業の拡大を促進するため、「島原市企業立地の促進及び雇用の創出に関する条例」に基づき、奨励金による支援を行うことにより本市の雇用創出に寄与しました。

・新規指定　　情報サービス業　１社

・過年度指定　情報サービス業　１社、製造業　１社

○雇用拡大支援事業　　1,700 千円

市内の事業所に就職した新規学卒者やＵＩターン者（若者）に対する支援を行い、若者の定住を促進しました。

新規学卒者４人、Ｕターン者９人、Ｉターン者６人　　合計 19 人

○創業支援等利子補給事業　　348 千円

創業関係融資を受けた創業者に利子補給補助を行い、創業時における負担軽減を図りました。

補助件数　12 件

○令和７年度島原市プレミアム付商品券発行事業　132,614 千円

円安や原油高などに伴う物価高騰によって影響が出ている消費者を支援するため、プレミアム付商品券を発行し、消費支援及び消費喚起を行うことで市内経済の活性化を図りました。

○商品券

・額　　面　：１冊　1,000 円券　５枚綴（額面 5,000 円、販売 3,000 円）

・発行ｾｯﾄ数：60,000 セット（うち販売セット数：59,929 冊）

・有効期間　：令和７年７月 27 日～令和７年 10 月 31 日

・発 行 者　：島原商工会議所、有明町商工会

○登録店

・353 店舗

款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
7	1	3	観光費	403,013 千円	343,002 千円	280～293

【しまばら観光課】

○観光宿泊施設支援事業　　12,371 千円

観光の振興と地域の活性化を図るため、温泉給湯事業を利用するホテル・旅館等が実施する宣伝ＰＲや地元の食材提供などに要する経費を対象として支援を行いました。

○島原城築城 400 年武将隊 PR 事業　　9,378 千円

島原城やイベント出演時の演舞披露やおもてなしサービス、ＳＮＳなどによる情報発信、ＰＲ活動などを行い、観光客の満足感や充実感を高め、また来たいと思わせるような演出を展開しました。

オリジナルグッズの開発や販売、また、収入確保のため、サポート企業を有償にて募り、サポート企業の広報ＰＲ事業を実施しました。

○鯉の泳ぐまち魅力アップ事業　　4,000 千円

しまばら湧水館（国登録有形文化財「旧三村邸」）を活用し、古民家カフェ事業を行うことで、館内でゆっくりとした時間を過ごしてもらい、滞在時間の延長と消費額拡大を図るとともに、郷土スイーツ「かんざらしの手作り体験」により付加価値を高めました。

■令和７年度入館者数と運営収入

	入館者数	20,503 人
売上内訳	喫茶事業（店内、テイクアウト）	11,937,609 円
	かんざらし手作り体験	235,400 円
	物販	303,382 円

○島原市スポーツキャンプ等誘致補助金　　4,618千円

交流人口の増加による観光振興や地域の活性化を図るため、プロサッカーチームやフェンシング国内強化指定選手、陸上チームのキャンプをはじめ、全国大会等の各種スポーツ大会を誘致しました。

（キャンプ）　　（人）

種　　目	参加者数	延宿泊者数
サッカー（プロサッカー　ほか）	637	1,754
フェンシング（日本代表チーム　ほか）	396	200
野　球（高校　ほか）	101	120
バレー（高校）	100	200
その他（剣道、テニス）	161	454
合　　計	1,395	2,728

（大　　会）　　（人）

種　　目		参加者数	延宿泊者数
サッカー	高円宮杯ＪＦＡU-18プリンスリーグ（全15回）	3,024	－
	九州大学サッカートーナメント大会	400	311
	サマーカップU-18サッカー大会ｉｎ島原	432	859
	大学サッカーサマーカップin島原	294	438
	九州大学サッカーリーグ（全2回）	170	－
	2025 V・VAREN Nagasaki 交流戦in島原	180	180
	KJ CUP	1,000	330
	大学サッカーフェスティバルin島原	362	1,313
	島原U-17サッカーチャレンジカップ	378	610
フェンシング	2025島原フルーレランキングマッチ	604	351
	令和7年度全九州高等学校体育大会	179	341
	全国高等学校選抜フェンシング大会	1,500	2,075
野球	西日本中学硬式野球島原大会	380	681
サイクル	イッキ！しまばらハント！	88	32
その他		1677	286
合　　計		10,668	7,807

▲ジェイリースキャンプ

▲西日本中学硬式野球大会

▲全国高校フェンシング大会

○大会・会議等誘致奨励金　　3,500 千円

観光振興及び地域の活性化を図るため、各種大会・会議・研修会等を開催する団体に対して、市内宿泊施設に宿泊した延べ人数等に応じて奨励金の交付を行い、交流人口の拡大を図りました。

区　　分	件数（件）	延宿泊者数（人）	金額（円）
島原市大会・会議等誘致奨励金	41 件	15,976 人	3,500,000 円

○九州オルレ「島原コース」推進事業　　2,590 千円

温泉や歴史、火山、食などの豊富なジオパークの恵みや自然を活用したオルレコースの認定に伴い、温泉やグルメ、観光地等の情報発信を行うことで、アウトドアブーム・健康ブームといった目的型旅行者の誘客や周遊型観光の推進を図り、交流人口の増加を図りました。

・令和７年度コース利用者数　4,383 人（参考　令和６年度：4,040 人）

・南島原市 10 周年記念とのコラボイベント（参加者数：75 人　令和７年 11 月 22 日開催）

▲コース階段修繕

▲11 月開催のオルレイベント

○しまばら美食きっぷＰＲ事業　　4,224 千円

観光客の飲食消費額・体験消費額の向上を図るため、熊本～島原を結ぶフェリーを利用した観光客をターゲットに、フェリー乗船券と島原の飲食店で利用できるお食事券をセットにした企画きっぷ「しまばら美食きっぷ」の販売を行いました。

九商フェリー・熊本フェリーの２社と連携し、島原の地元飲食店 10 店舗が参画することで、フェリー利用者に島原の食の魅力を体験してもらい、プロのシェフによるコンサルティングを活用し、地域食材の掘り起こしと食のブランディングの基盤づくりも行いました。

○インバウンド誘客事業　　1,500 千円

九州の国際空港に直行便のあるアジア各国（中国・台湾・韓国・香港・タイ）市場の中でも特に台湾をターゲットとして様々なプロモーションを展開することで、福岡・熊本方面からの誘客を行い、広域観光周遊ルートを設定することで交流人口の拡大を図りました。

・デジタル広告クリック数　43,303 回

・インフルエンサー施策（YouTube）　67,036 回再生

・LP（ランディングページ）人気コンテンツ　**1 位島原城、2 位四明荘と本市が独占**

・台湾ツアー造成　計 524 本　送客 8,155 名のうち　**本市への実績：46 本、758 名**

○島原城及び鯉の泳ぐまち観光交流施設指定管理料　　22,600 千円

島原城及び鯉の泳ぐまち観光交流施設（鯉の泳ぐまち観光交流センター「清流亭」、しまばら湧水館、湧水庭園「四明荘」）を指定管理者が一元的に管理運営することにより、周遊型観光の促進及び滞在時間の延長を図りました。

令和７年度は、島原城築城 400 年記念事業を実施した令和６年度と比較すると、島原城の入館者は減少しているものの、鯉の泳ぐまち３施設全体の利用者は増加しており、令和５年度と比較しても、指定管理４施設を合わせた利用者及び運営収入が増加しており、人件費や光熱水費が増加する状況においても令和５年度と同額の指定管理料になるような運営を行いました。

年度	指定管理料（円）	利用者数（人）			
		島原城	清流亭	湧水館	四明荘
Ｒ７	22,600,000	118,832	37,053	20,503	35,976
Ｒ６	0	131,961	32,324	20,811	30,862
Ｒ５	22,600,000	119,925	34,750	19,355	33,007
Ｒ４	41,200,000	73,041	22,432	13,187	29,181
Ｒ３	55,000,000	68,873	26,193	6,900	18,411

○浜の川湧水観光交流施設指定管理料　　0円

本市特有の観光資源である「湧水」を活用した交流施設として、島原の名物である「かんざらし」等の提供を行うとともに、魅力的な観光スポットとして島原城や鯉の泳ぐまちと併せた周遊化及び滞在時間の延長と交流人口の拡大を図るため、令和３年度から管理運営を指定管理者に委託し、効果的な運営を図りました。

令和７年度においても、指定管理者の経営努力により、指定管理料０円が実現できました。

年度	指定管理料（円）	利用者数（人）
Ｒ７	0	27,870
Ｒ６	0	27,633
Ｒ５	0	27,965
Ｒ４	0	23,161
Ｒ３	1,400,000	19,598

○島原温泉ゆとろぎの湯指定管理料　　28,857千円

市民の健康増進や観光客の市内周遊化、中心市街地の活性化を図る目的で建設した温浴施設「島原温泉ゆとろぎの湯」の管理運営を指定管理者に委託し、効果的な運営を図りました。

年度	指定管理料（円）	利用者数（人）
Ｒ７	28,857,000	67,969
Ｒ６	28,857,000	69,740
Ｒ５	24,000,000	69,641
Ｒ４	29,000,000	62,934
Ｒ３	23,000,000	52,581

○島原城整備事業　　133,342千円

島原城西の櫓の景観整備を図るため、外壁及び屋根改修工事を実施しました。また、島原城入館者に適切な環境を提供するため、島原城天守閣空調設備工事を実施しました。

事業名	金額（円）
島原城西の櫓外壁及び屋根改修工事	59,807,000
島原城天守閣空調工事（令和６年度から繰越）	73,535,000

款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
7	1	4	ふるさと産業振興費	37,896 千円	18,933 千円	292～295

【商工振興課】

○特産品ＰＲ催事事業　　1,041 千円

（ホームページ管理活用事業、特産品認定・催事支援事業）

本市特産品のブランド化の一環として、商品の魅力が向上し、消費者に愛される特産品となるよう、各種催事等へ積極的に出展し情報発信・ＰＲを行いました。

・物産展等開催・参加回数　6 回

（東京都内・福岡市・長崎市・豊後高田市・福知山市・幸田町）

・延べ出展事業者数　16 事業者

福岡大丸
「しまばらんマルシェ」

みらい長崎ココウォーク
「しまばらロケ展」・「物産展」

○特産品流通促進事業　　16,536 千円

（商談会等開催事業、島原産品プロモーション事業）

島原の良質な地場産品や特産品を都市圏や多くの地域の方々へ消費してもらえるように、一般社団法人離島地方創生協会に業務を委託し、来島したバイヤー等の専門家と地元生産者との面談によるノウハウ提供や商談等を通じて、地場産品等のブランディングや情報発信の強化、販路拡大や物流の強化を図りました。

・市内 30 事業所を訪問し、5 事業所のプロジェクトが進行中。

事業者との協議

現地調査

款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
7	1	5	有明の森フラワー公園管理費	34,066 千円	33,140 千円	294～297

【商工振興課】

○有明の森フラワー公園管理経費　　33,140 千円

市民に休養・憩いの場を提供することで健康増進を図るとともに、観光交流の場として本市の活性化を図るため有明の森フラワー公園の管理・運営を行いました。

四季折々の花が咲き誇り、色とりどりの鮮やかな空間づくりを行うとともに、併設している物産館では地元産の野菜や加工品など地元特産品の販売を行いました。

・R7 利用者　約 41,400 人

有明の森フラワー公園

＜花カレンダー（見ごろの時期）＞

花の種類	開花時期
菜の花	3 月～4 月
桜	4 月
パンジー・デージー	4 月
サルビア	5 月～11 月
マリーゴールド	5 月～11 月
コスモス	10 月